

編集後記

スタンリー・キューブリック監督の有名な映画『2001年宇宙の旅』の冒頭で、ホモサピエンスの祖先である類人猿「ヒトザル」の1匹「月を見るもの」が、動物の骨を武器として使って敵を倒すシーンが出てきますが、この時「月を見るもの」は直立二足歩行をして武器を使用しています。「武器(道具)を使うために手を空ける必要があった」のが理由だったかどうかはさておき、直立二足歩行が人類の進化において重要な役割を果たしたことを示す有名なシーンです。実際に人類が二足歩行を始めたのは約700万年前から500万年前ではないかと推定されています。1974年にエチオピアで発見された有名なアウストラロピテクス・アファレンシスのルーシーは、骨格形態から直立二足歩行をしていたと考えられています。またタンザニアのラエトリ遺跡で発見された370万年前の足跡化石は、初期人類が二足歩行をしていたことの確実な証拠であるとされています。

直立二足歩行は、道具を使うのに便利だっただけでなく、遠くを見渡せる、長距離を移動する際のエネルギー効率が優れているなど、多くのメリットがありました。直立二足歩行によって人類には様々な解剖学的な変化が生じましたが、足部にも、アーチの形成、母趾の進化(人類では他の足趾とはほぼ平行に配置されている)、足底筋の発達などの変化が生じたと考えられています。これらの変化もまた効率的に直立二足歩行を行うために不可欠な適応であったと考えられます。一部のサルも二足歩行をしますが、その足の構造は人間とは異なり、足の親指が他の指と対向するよう

になっており、木の枝をつかんだり、物を握ったりするのに適しています。

様々な利便性的一方で、直立二足歩行はデメリットも伴いました。最も顕著なのは、脊柱の弯曲変化に起因する腰痛や、下肢への負荷増加による膝痛です。足に関しても、足底筋膜炎、アキレス腱炎、外反母趾、扁平足などの様々な足病は二足歩行による荷重負荷の増加が原因になったと考えられます。特に、アーチの構造は複雑で、その維持には多くの筋肉や靱帯が関与するため、これらの構造に異常が生じると、様々な問題が発生しやすくなります。外反母趾変形については、荷重増加に加え、履物の影響も指摘されています。

さて本号の特集は順天堂大学の田中里佳先生編集の「フットケア・足病医療の新時代」です。足診療の専門家である足病医(podiatrist)が国家資格として認められている欧米と比較して、足病に特化した専門職種が存在しない日本では、足の疾患は各診療科が個別に対応し、総合的な診断や治療が困難な状況がみられます。しかし長時間の歩行や立ち仕事、さらにはスポーツ活動によって足に負担がかかる現代社会において、フットケアと足病医療の重要性はますます高まっています。

1969年、アポロ11号の着陸によって月面に刻まれた人類初の足跡は、偉大な挑戦と到達を象徴する歴史的瞬間です。しかし、その足跡を支えた足、そして現代人の足を支える医療の現状には課題が残されています。この特集が皆様にとって足病の重要性を再認識するきっかけ(足跡)になれば幸いです。(田中 栄)

「整形・災害外科」第68巻 第4号(4月号) 2025年4月1日発行(毎月1回1日発行) 定価 3,080円(本体2,800円+税10%) 年間購読料金 定価 47,960円(本体43,600円+税10%) [年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03(3811)7165 [編集室直通] TEL 03(3811)7184 [営業部直通] FAX 03(3813)0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。